

高松大学 高松大学大学院 高松短期大学 認定こども園高松東幼稚園

2017. 9



祭りは、「一祭
お祭り」をテーマに、十
月十四日・十五日に開催しま
す。

学生、職員、大学祭に関わ
る全ての人が最大限協力し、
大学祭を盛り上げようという
意味と、来ていただいたお客
様全員にわくわく、どきどき
を与えられるような大学祭に
したいという思いからこの
テーマにしました。この二日
間で学生同士はもちろん、地
域の方々、卒業生とも交流を



福井 雅也
今年度の大学祭は、「一祭お祭り」をテーマに、十月十四日・十五日に開催します。

大学祭実行委員長
経営学部経営学科三年



10/14(土)
15(日)

ご友人お誘い合わせのうえ、是非ご来場ください。



果を披露します。また、模擬店や作品展示など多彩な企画で高松大学・高松短期大学をアピールします。

毎年ご好評をいただいている発達科学部の「げんき村十丁目わんぱく通り」や保育学科の「ほいくのくに」などの子ども向けイベントも開催します。

深めることができ
る大学祭となるよ
う努力しています。
メインステージ
では、ミス・ミス
ターコンテストや
カラオケ大会など
の催し物を開催し
、ジャズ研究会によ
るライブやサーク
ルによるダンスなど日頃の成

「げんき村」村長
発達科学部子ども発達学科三年
木村 未奈
今年で「げんき村」は十
年目を迎える
「げんき村十丁
目わんぱく通り」となりました。
今年のげんき村のテーマは、「
「わんぱくジャングル探検隊」
です。メインの「巨大迷路ア
トラクション」では、宝箱を
目指し、ジャングルを探検し
ます。他にも、ダンボール
製遊具がある「げんき村広
場」や二万個の積み木で遊べ
る「つみきの部屋」、絵本の
読み聞かせや絵本の展示があ
る「げんき村劇場」があります。
また、昨年度に引き続き、小
学生以上を対象にしたジャグ
リングコーナーも設置します。
十周年を迎えたげんき村を
住人だけでなく、来場してく
ださった方々と共に祝い、楽
しみたいです。

「ほいくのくに」運営委員長
保育学科一年 岩田 莉佳子
保育学科で
は、地域の子
育て支援や保
育の実践力・
表現力を高めるため、今年も
「ほいくのくに」を開催しま
す。



「げんき村十丁目
わんぱく通り」

「すてきな生き物大集合！」
というテーマのもと、各研究
室の学生が子どもたちの発達
段階を理解し、研究室毎の
テーマに沿って環境設定をし
て、動物絵本の中の生き物た
ちと参加型であそぶイベン
トです。

また、手作り人形劇「どう
ぞのいす」、「にじいろのさか
な」の公演もあります。公演
時間は、両日ともに十時三十
分と十二時三十分からの二回
公演です。ぜひお子様連れで
ご来場ください。

「すてきな生き物大集合！」
というテーマのもと、各研究
室の学生が子どもたちの発達
段階を理解し、研究室毎の
テーマに沿って環境設定をし
て、動物絵本の中の生き物た
ちと参加型であそぶイベン
トです。



「ほいくのくに」紹介」

発達科学部 子ども発達学科

小学校教員採用試験を受験して

発達科学部子ども発達学科四年



高木 安寿佳
七月十五日、
十六日に実施
された香川県
の小学校教員
採用試験を受
験してきました

一日目は、総合教養と専門
教養の筆記試験。緊張しなが
ら会場である高松高校に向か
いました。試験では、ゼミの
時間を利用してゼミ生や先生
と一緒に準備し、予想したこ
とが出題され、日頃の学習の
成果を実感しました。
二日目は、集団討論と音楽、
体育の実技試験が行われまし
た。集団討論は、大学の講座
での練習とは違い、受験会場
で初めて会う人たちとの討論
に少し戸惑いましたが、明る
い雰囲気での討論が進みまし
た。ピアノの弾き歌いは、前日ま
でご指導いただいた個人レッ
スンのおかげで落ち着いて演
奏することが出来ました。
大学では、採用試験を受け
る学生のための授業や講座を
多数開催してくださっていま
す。その一つ一つにきちんと
参加してきたことが今回の試
験の自信に繋がりました。先
生方や支えてくださった方々
のおかげです。ありがとうございます。

読み聞かせキッズ養成講座の開催

発達科学部子ども発達学科三年



丸山 祐佳
三月二十六
日、四月九
日、二十三日
の三日間にわ
たり読み聞か
せキッズ養成
講座を開催しました。中央図
書館と国分寺図書館の読み聞
かせキッズ養成講座に応募し
た小学生八名を対象に、講話
や絵本・紙芝居の読み方の
指導や手遊び・体遊びの
体験を行いました。また、
最終日には、講座参加者
による模擬おはなし会を
行いました。学生が指導
をしていくと、よりおは
なしを伝えたいという思い
が込められた読み方へと変容
していきました。



講座初
日、子ども
たちは
とても緊張してい
ましたが、
絵本読み
を通して
関わって
いくうち
に打ち解けて、最後には笑顔
が溢れていました。
このような子どもたちの成
長を間近で見ることができ、
嬉しく思いました。

経営学部 経営学科

ポンポコ祭りに参加して

経営学部経営学科一年 野村 明生



五月三日、
四日、高松市
立中央公園で
行われた「第
十四回さぬき
高松ポンポコ
まつり」に参加しました。

経営学部のウイリアムズゼ
ミ、岡本ゼミ、たぬきビジネ
ス研究会の学生が中心となっ
て参加し、模擬店でポップ
コーンと揚げスパゲッティ
を販売しました。
この模擬店で、現在
私が学んでいることと
の多くの共通点を見つ
け、「どうすれば、多くの
顧客を獲得できるの
か」「どうすれば、顧客
に満足してもらえるのか」を
考え、ワクワクしながらでき
ました。子どもからお年寄り
まで幅広い年代の人と触れ合
い、話すことで多くの刺激を
いただき、自分にとって良い
経験となりました。



今後このようにイベントに参加し、今回よりも多くの売り上げに貢献できるような、普

高松大学

段の講義において様々な知識
を吸収し、実践していきたい
です。

むれ源平石あかりロード

「むれ源平石あかりロード」
は、高松市牟礼町に点在する
源平屋島合戦の史跡や石材文
化をコラボレーションさせた
イベントであり、平成十七年
夏に初めて開催された。開催
期間中は、
庵治石で作
られた約
二百基の石
あかりが源
平史跡をつ
なぐように
旧庵治街道
沿いに設置
され、ライトアップが行われ
る。同イベントは平成十九年
国土交通省の日本風景街道に
登録された。
今年度は、八月五日から九
月十六日まで開催され、本学
経営学部から約七十名の学生
がボランティアとして参加。
中核となる学生は、実行委員
会に参加し議論に加わって
いる。また、
ホームペー
ジ担当の学
生が中心と
なり、SNS
を利用して
情報を発信
している。



探訪/研究室

経営学部 山下 博武



自己紹介

経営学部の山下博武です。
スポーツ経営学、スポーツ社
会学、等といった講義を担当
しています。

ゼミナールの特徴

ゼミでは、スポーツ界に潜
む諸問題を批判的に検討、経
営学的に考察を試みています。
今年の前期は、「運動部活動
における体罰問題」という
テーマに取り組みました。夏
休みには、勉強合宿会を実施
し、後期には、各学生の問題
意識に基づいてこれまでの研
究の検討を行っていきます。

ゼミ生へ一言

卒業論文では、他の誰でも
ない、皆さん一人一人にしか
できない、オリジナルな知識
を生産しましょう。

二十歳の時の自分

「死んだ魚のような目」を
していました。大学生でした
ので、毎日のように飲み会、
ひたすらゲーム。ちょうど
二十歳の終わり頃に「このま
まではいけない」と思い直し
ました。

保育学科

■工夫がいつぱい さぬきこども園

保育学科一年 中條 加菜



六月十八日、さぬきこども園に保育に生かすことができる工夫を学びに行きました。

私は、以前よりこの施設でボランティア活動をさせていただいており、子どもたちが安全で楽しく過ごせるよう、スタッフの方々が多くの配慮をされていることを普段から感じていましたが、今回見学したことで、子どもだけでなく、保護者の方々にとっても、安心して楽しめる場となるよう工夫していることに改めて気づきました。



また、この日は心理学研究室による「はぐくみ×カレッジ」がありました。「はらぺこあおむし」をテーマにした活動では、子どもたちが目を輝かせて参加しており、子どもたちを惹きつける工夫がたくさんありました。

今回の学習では、子どもたちや保護者への関わり方、施設の工夫を見学し、とても良い勉強になりました。

■充実した野外活動実習

保育学科一年 加藤 さくら



私たち保育学科は、野外活動実習として二泊三日で余島を訪問しました。

私が一番印象に残った活動は、海でのアクティビティです。カヤックやウィンドサーフィンはとても難しかったのですが、指導員の方々と友達の助けを借りて楽しいひと時を過ごすと共に、海の大きさや波の音や海の風から体全身で感じるものが出来ました。その他にも五感を使った自然散策や野外炊飯など、多くの楽しい活動を通して仲間の新しい一面を知ると同時に、共に生活する中で協調性や社会性も育むことができたと思います。



今回の余島での体験を活かし、私たち保育学科一年生全員で日々学習に邁進していきます。

高松短期大学

秘書科

■さぬきマルシェでの販売実習

秘書科二年 好永 梨花



ビジネス実務Iの授業で、サンポートで行われている「さぬきマルシェ」にて実習を行いました。

一年生のときは、さぬきマルシェに出店されているお店を手伝わせていただきましたが、今回は自分たちが出店し、香川県産品を販売しました。

当日は、秘書科で学んだ敬語やビジネスマナーを生かし、商品の特色や味などのポイントを一生懸命、説明しました。また、お客様に足を止めていただくために、ポップや商品陳列、声かけ、試食などを工夫しました。お客様が商品に興味を示してくださったときには、大変嬉しかったことを鮮明に覚えていきます。

商品販売の難しさと楽しさを実感できたことは、良い経験になりました。未熟な私たちのお店からご購入いただきましてお客様、本当にありがとうございました。これから、社会に出る私たちですが、今回の実習の成果を今後に生かしたいと考えています。

■学外セミナーに参加して

秘書科一年 森 千尋



六月二十六日、学外セミナー第二弾として、「小豆島」へ行ききました。

私は、プライベートで何度も小豆島を訪れており、小豆島の魅力は知っているつもりでしたが、今回訪れて新たな魅力を発見しました。

それは、小豆島の方々の「おもてなし精神」です。約百三十名の大人数で小豆島ふるさと村を訪問したのですが、私たちのためにフォトフレーム作りやパーベキューなどの用意をして笑顔で迎えてくださいました。楽しい体験学習、そして美味しいお肉や野菜に、私たちが歓声をあげたのには言うまでもありません。本当にお世話になりました。ご馳走様でした。



その後、二十四の瞳映画村やエンジェルロードなどの美しい観光名所や自然豊かな小豆島を満喫し、全員で楽しい思い出を作ることができました。今も小豆島をきっかけに親しくなった友達との会話が弾んでいます。

探訪/研究室

保育学科 佐々木 利子



●自己紹介

幼児教育研究室の佐々木です。これまで、幼児教育の現場で子どもたちに関わってきました。短大では教育実習・保育方法論・教育相談等を担当しています。

●研究室の特徴

模擬保育や保育実践につながる教材研究をしています。また、誕生会を担当者が企画し、親睦を深めながら、保育技術を学ぶ場にもしています。

●研究室の学生へ一言

卒業後の自分を思い描きながら、そこに至る一歩として日々を大切にしてください。「学ぶのは今でしょ」かな？

●二十歳の時の自分

学生生活二年目、授業やクラブ活動に忙しい毎日でした。それでも、友達の下宿にみんなで集まったり、趣味のサークルに参加したりすることも楽しんでいました。

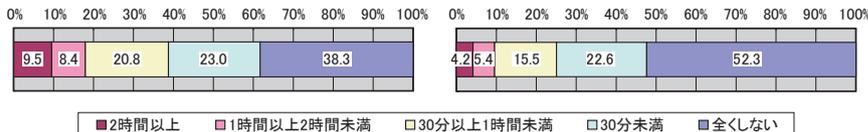
平成28年度 学生による授業評価

高松大学と高松短期大学では、平成14年度から学期末に「学生による授業評価」を実施している。教育活動が、どのようになされているかの一端を把握し、授業内容・方法の改善・改革に資することを目的に取り組んでいる。評価結果は、大学全体、全学共通科目、専門科目ごとにまとめている。高松大学大学院については、平成28年度から取り組みを始めた。

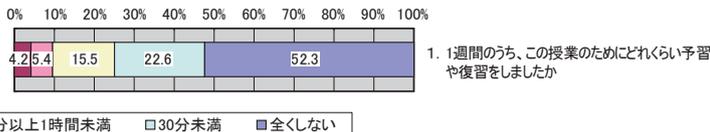
また、各授業担当教員がこの結果に対するコメントを記入した報告書を発刊。年度別に冊子にまとめた報告書は、図書館で閲覧可能である。

次のグラフは28年度に実施した全体の集計結果である。回収率は、大学は77.4%、短大は93.8%、大学院は87.7%であった。

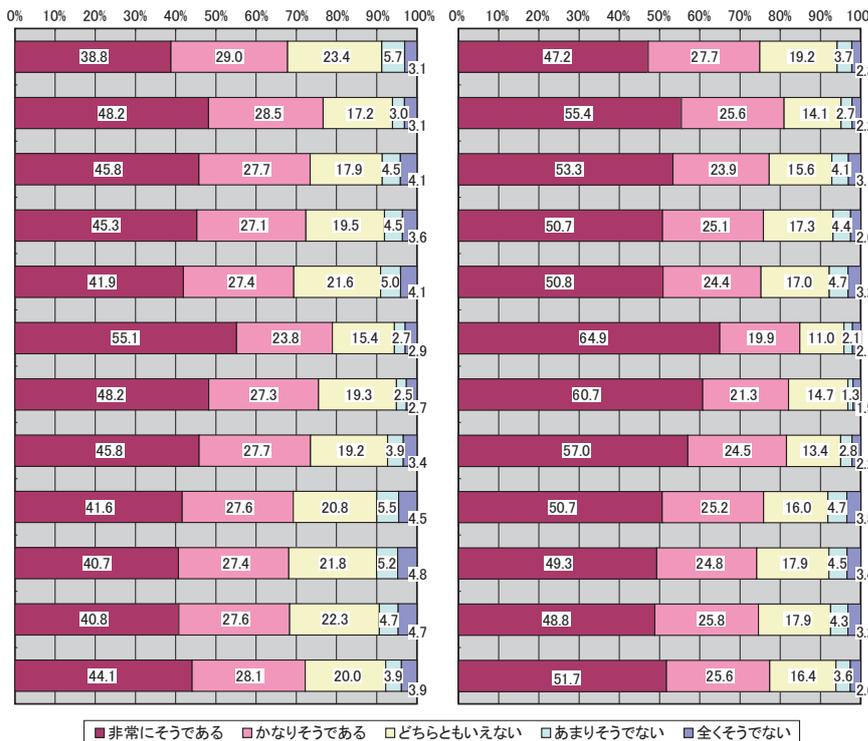
高松大学



高松短期大学



1. 1週間のうち、この授業のためにどれくらい予習や復習をしましたか



高松大学大学院



保護者教育懇談会のご案内

保護者教育懇談会を下記のとおり開催します。

大学の教育方針の説明(全体会)と担当教員との個別懇談があります。就職、学生生活相談窓口も設けます。

本学会場	9月23日(土) 9:15~(8:45~受付)
高知会場	9月24日(日) 13:00~(12:30~受付) 高知パレスホテル

お問い合わせ先▶
学生課 087-841-0864

かがわ子ども大学 高松大学キャンパスの 「イカダで遊ぼう。」を開催

七月十七日、かがわ子ども大学高松大学キャンパスの「イカダで遊ぼう。」を開催した。



イカダの作り方の説明や諸注意のあと、四六生の小学生四十名が十二

チームに分かれてイカダ作りに挑戦した。チームは、小学校教員をめざす発達科学部の学生等がリーダーとなり、子どもたちと役割分担を決め、材料の運搬やイカダの骨組み作り、浮きの取り付けなど、地域の方々のサポートもいただきながら完成した。イカダが完成した順に新川に浮かべて出航し、イカダ遊びを楽しんだ。また、水難事故防止のため、



高松東消防署の方から水防訓練の説明があり、溺れた際の救出方法なども学んだ。

新川には終始子ども大学生の笑顔があふれ、イカダ作りを通して協力し合うことの大切さを学び、地域の人々と交流することができた。

この行事には、事前の準備や荷物の運搬、当日の運営など、地域の春日十日会、青年会、高松源平ライオンズクラブの皆さん等と協力し開催することができた。

模擬選挙

六月二十六日、大学の授業「総合講座」内で模擬選挙等が行われた。高松市選挙管理委員会事務局より、昨年選挙権年齢が十八歳以上へ引き下げられたこと、昨年実施された参議院議員通常選挙における十八歳選挙権に関する意識調査の結果や投票についての説明があった。

その後、模擬投票では、参議院議員通常選挙の比例代表を想定



し、学生が受付係、名簿対照係、選挙管理者、選挙立会人等も務めて行われた。学生全員の投票終了後、開票が行われ、模擬選挙等を通じて選挙について理解を深めた。

「はぐくみ×カレッジ」を開催

六月十八日、短大保育学科の学生十二名が、さぬきこどもの国とコラボして子どもとその保護者で楽しめる遊びの広場「はぐくみ×カレッジ」を開催した。

イベントは午前と午後との二回開催。多くの皆さんに参加していただいた。



イベントでは、はらべこあおむしをテーマにした絵本の読み聞かせや、足型あおむしの製作等をおとして、親子とのふれあい遊びの場を提供した。学生は、事前準備、リハールなどを充分に行ったことで、スムーズな運営ができた。幼稚園教諭や保育士をめざす学生は、この経験を今後の保育活動に役立てていく。

平成二十九年四国地区 大学総合体育大会に出場

六月二十三日から七月九日にかけて徳島県で開催された、平成二十九年度第六十八回四国地区大学総合体育大会において、卓球（男子及び女子シ



ングルス・男子ダブルス、バレーボール（男子及び女子）、サッカー、バドミントン（男子及び女子）、シングルス・女子ダブルス）、フットサル、軟式野球、ソフトテニス（個人戦）の七種目に九十四名が参加した。

先生方も応援にかけつけ、いずれの競技も日頃の練習の成果を発揮し健闘した大会となった。試合結果は、公式ホームページに掲載している。

認定こども園高松東幼稚園ニュース



「まばゆい日差しの中で」



こども園への移行による建物の増改築に伴い、今年度からはプール遊びを戸外にて行うこととなりました。今までは東館の建物の中に室内プールとして設けており、全天候で楽しめるようになってはいたものの、日差しが入りにくいために水の冷たさを肌寒く感じることもありました。それが屋外となり、天候にこそ左右されるものの、晴天の下でたくさんの日差しを浴びながら楽しむ水の感触は、子どもたちもとても心地良かったようです。園庭にはいつもみんなの元気な笑い声と水しぶきが飛び交っていましたよ。



“初めて”とは、園外プールでの初めての体験です。最初は水が冷たいと感じる子どももいましたが、先生方の声かけやサポートのおかげで、みんな笑顔で楽しんでいます。夏は水遊びが大好きな子どもたちにとって、とても楽しい活動です。これからも、みんなの笑顔と笑い声が響く園庭を大切にしていきたいです。

保育者をめざす高校生のための保育体験ツアー(夏編)

平成二十九年八月十日、カナン保育園とカナン子育てプラザ21の二つの保育所で「保育者をめざす高校生のための保育体験ツアー」が開催され、五十三名の参加者が実習を行った。



昨年度の参加者の要望もあり、今回は保育体験の時間を増やし、

より子どもたちと関わることでできた。単なる職場体験とは違い、遊びの意味や保育士の声かけの意味を教わりなが

キラリ☆輝く人

RCサークル



経営学部 経営学科 3年
くらい しょうりん 凛さん

タミヤ電動RCカー世界ナンバー1を決定する「タミヤグランプリワールドチャンピオン決定戦2016」がツインメッセ静岡で開催され、TRF Championshipクラスにおいて第7位に入賞した。「日々の走行練習やデータ収集の成果が実った大会でした。今後はワールドチャンピオンを目指して努力を重ねていきたいです。」と抱負を語ってくれた。

ら、また本学保育学科卒業の保育士による保育のやりがいや素晴らしさの講話を通して、



参加者は最初は表情が硬かった参加者も子どもの笑顔に囲まれるとすぐに緊張が解け、笑顔で子どもたちと遊び、食事の模擬指導をすることができた。大学に戻って保育学科教員と保育所の先生による振り返りを行い、無事終了することができた。

冬編ツアーは十二月二十六日に開催する予定。



さぬき高松まつり

総おどりに参加

八月十四日に開催された「第五十二回さぬき高松まつり総おどり喜舞笑舞〜ミライへつなぐライの輪舞〜」に、秘書科学生有志、発達科学部学生有志総勢九十名が、高松短期大学秘書科連として十六回目のお出方を飾った。練習を重ねて迎えた当日、午後七時に中央通りを舞台に踊りはじめ、約一時間にわたり元気いっぱいに踊った。



春日町防災訓練

六月二十五日、高松短期大学で「春日町防災訓練」を実施した。南海トラフを震源とする大地震発生後、津波警報が発令されたことを想定し、地域住民が高松市指定避難ビルである本学への避難等の訓練で、昨年十二月に発足した高松市消防団・機別分団「高松大学防災サポーターチーム」の団員五名が活動した。



車椅子での移動補助や講話等の聴講、負傷者の移動訓練、AEDの使用訓練等を行った。



「たーちゃん絵本ひろば」を七月15日に本学2号館で開催しました。地域の子どもや保護者など約100名が、大型絵本や歌、手遊び、紙工作の製作など親子で参加できる遊びで学生と楽しく触れ合いました。次回は、12月16日(土)に開催する予定です。

オータムコンサートご案内

【日時】11月22日(水) 18時30分開演
【場所】高松テルサホール (高松市屋島西町2366-1)



学内選考で選ばれた学生や本学公開講座受講者、卒業生などによる演奏会です。ぜひご来場ください。

編集後記

☆体育館や図書館、廊下など大学の照明が少しずつLED化しています。本学もLED照明のようにいつまでも明るい大学でありたいと思います。